

平成27年度

事務事業評価表 A (平成26年度の実績評価)

記入年月日 平成 27 年 4 月 10 日

事務事業名: 桜川市文化協会助成事業. 区分: 分野別主要事業. 事務事業No.: 30213517. 課内No.: 17. 政策体系: 総合計画の施策名 302 生涯学習・芸術文化活動の推進. 予算科目: 会計 1 款 10 項 5 目 3 事業 1. 法令根拠: Do 1. 事務事業の現状把握 (その1).

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標. ① 事務事業の概要 (事務事業の内容): 市の文化振興、向上をはかるため、市文化協会への補助事業ならびに、岩瀬、大和、真壁支部の連携を図り、交流を深める。② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動: ①加盟団体へ補助金交付申請・交付決定、実績報告。③ 対象 (誰、何を対象にしているのか): 桜川市文化協会加盟団体および会員。④ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか): 市民の文化芸術への関心を促し、その向上および振興をはかる。⑤ 結果 (どんな結果に結び付けるのか): 文化協会の加入団体数を増やし、加入団体の事業、活動を活性化させる。

(2) 指標値の推移. Table with columns: 区分, 単位, 24年度 (実績), 25年度 (実績), 26年度 (実績), 27年度 (計画), 28年度 (目標), 29年度 (目標), 30年度 (目標). Rows include ⑥活動指標, ⑦対象指標, ⑧成果指標, ⑨上位成果指標.

(3) 投入量 (事業費) の推移. Table with columns: 区分, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度. Rows include 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B), 事業費の内訳 (補助金).

(4) 当該年度の実施内容. Table with columns: 27年度の事業内容, 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a note: ※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する. 対象事業: 分野別主要事業, 未来プロジェクト事業, 市長マニフェスト事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	桜川市文化協会助成事業	事務事業No.	30213517	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	----------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

岩瀬・大和・真壁地区の文化協会が合併を機に桜川市文化協会を設立。市の芸術文化の向上、振興と、各支部の団体の交流をはかるためにはじめた補助事業。開始時期から比べて、各団体が高齢化と会員の減少傾向、脆弱化し、退会する団体も見られる。補助金の目的、活用の意味と成果の理解が依然不十分なところもあり、団体、支部の事業計画を立案するまでには至っていない。組織運営については、平成25年度から各支部へ自立化を助言指導し、少しずつ支部ごとに補助金申請、報告など庶務が行えるようになった。市民文化祭を実施することで、支部間の交流会や、部門ごとの連携を行うようになった。今後、部門の統合による組織再編成に向け、協議を開始。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

高齢化しているため、協会としての組織運営、庶務(事務)がむずかしく、事務局(行政担当)に協力、助言が必要。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市総合計画の政策に合致
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 規約をもつ団体として組織がきちんとしており、補助金を交付する条件(会員から負担金を徴収)を満たしている。文化行政施策、文化振興を支える貴重な組織である。
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である 支部を構成する会員の高齢化、会員の減少傾向が続いているため、部門の統合による組織(例:音楽、芸能、文芸等)替えも考えられる。
有効性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 支部間の部門ごとの統一化、または連携をすることで文化内容の充実、文化振興をはかることができる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の文化行政を支え、施策、計画等の指針となる組織の一つである。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 市民文化祭実行委員会と連携ができる。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各支部の事業計画、予算に見合った補助金を計上している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各支部の庶務が自立したため、担当係の業務時間が少なくなった。
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員から負担金を徴収し、各団体の予算額にそって補助金を計上、交付している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・助言、指導を行うことで、各支部の運営の自立化が進み、庶務ができるようになった。また、支部役員の組織力を認識してもらった機会ができた。 ・支部内の部門交流や支部間の交流も行われ、文化振興の内容が深まってきた。 ・各支部の音楽関係団体が市民文化祭音楽祭の交流により、「市民音楽祭実行委員会」の立ち上げ準備を進めている。これをきっかけに、芸能祭など、横の連携がとれることにより文化の質が高めることができるきっかけとなるのではないかと。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																				
(3)-1 改革改善策																					
会員の高齢化、会員数の減少、加入団体数の減少により、岩瀬、大和、真壁各支部のいわゆる「縦割り」の文化協会の維持が脆弱化している。文化振興のため、その充実性を求める上では、支部内の事業の充実も大切であるが、部門ごとに団体を連携し、部門の振興をはかることも「桜川市の文化」の振興につながるのではないかとと思われる。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		○																			
低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																				
市民文化祭の交流を通じて、音楽や芸能関係団体は、横の連携が取れるようになった。一方、いけばな展など、「高齢化」や「会場の地域性」を理由に依然として支部独自性を地元開催に固執する意識が見受けられる。意識や趣味の共有化、交流会など、統合または統一事業を展開できるよう、行政として指導助言を行っていく。	成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>